

# User Manual

VD3000JP Ver.1.0.1

# VISIONDRIVE™

CAR BLACK BOX



**VD-3000**  
AD-3000

---

# 目次

---

1.	ご利用を開始する前に	2
2.	ご利用時の注意事項	3
3.	製品構成	6
4.	製品各部の名称	7
5.	製品仕様	8
6.	設置時の注意事項	9
7.	設置順序	10
8.	設置方法	11
9.	使用方法	20
10.	分析プログラム	27
11.	製品保証	38

---

# 1. ご利用を開始する前に

弊社製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。

下記は弊社の製品のご購入、ご使用にあたり、弊社が保証する責任の範囲とともに本商品の使用上の注意事項を整理したものです。

製品のご利用を開始する前に本内容を十分にご熟知くださいますようお願い申し上げます。

## ■ 保証と責任の範囲

本製品の故障、またはデータの損失による損害及び、本製品の使用に当たって発生する損害に関して、本製品および付属品の修理・交換を超える範囲については弊社では責任を負いかねます。

本製品は車両の運行中、発生する衝撃、事故またはユーザーのご判断により、映像を録画/保存/再生/分析することを目的とした装置ですが、どのような使用環境・作動状況でも録画することを保証するものではありません。

また、車両に加わる衝撃が弱い場合、軽微な事故で衝撃が弱い場合、振動センサーが衝撃を感知することができない場合があります。本装置が映像を自動的に録画しない場合がありますので、このような場合は必ず、装備している緊急保存ボタン(SHOT)を押して、映像を録画することをお勧めします。

## 2. ご利用時の注意事項

- 本製品のSDカードはVision Drive専用SDカードのみ使用できます。紛失または損傷した場合は販売代理店にお問い合わせください。
- 不良(故障)のSDカードまたは専用SDカード以外のSDカードを使用すると、SDカードの品質などの問題により、保存された映像の損傷又は映像自体が録画/再生ができない場合があります。その場合は保証の対象外になりますので、ご了承ください。
- 本製品を任意に分解、改造しないでください。感電事故の原因になり、作動異常による事故が発生する可能性があります。また、修理が受けられなくなる場合があります。製品の点検または修理が必要な場合にはご購入された販売代理店にお問い合わせください。
- 仕様と異なる電圧ではご使用をご遠慮ください。故障または火災の原因になる場合があります。
- 同封のケーブル以外のケーブルを使用する場合または、仕様と異なる電源を使用する場合は故障または火災の原因になる恐れがありますので、ご遠慮ください。また、配線、ケーブルに損傷がないようにご注意ください。
- 常時電源につなげた場合、長時間車両を使用しない場合には電源を抜いてください。車種によっては車両のバッテリー放電の原因になる恐れがあります。
- 本製品を車両に装着する場合は、設置マニュアルのとおり、車両内部にしっかりと装着してください。車両のガラスの設置部分に異物がついていると接着の強度が落ち、製品が落下する恐れがあります。
- 本製品は防水製品ではありません。本体に水、または液体がかからないようにご注意ください。

## 2. 使用時、注意事項

- 車両内部または本製品を掃除する場合、化学薬品 洗剤などの使用はご遠慮ください。故障の原因になります。
- 車両のガラス表面またはカメラ表面にホコリや異物がついている場合、映像がきれいに撮影できない恐れがあります。カメラが装着されている車両前面ガラス（又はカメラレンズ）をきれいに維持してください。
- 車両の前面ガラスのコーティング状態により、映像が録画画質に影響を及ぼす可能性がありますので、ご了承ください。特に、夜間の場合に映像が少し暗めに記録される場合もあります。
- 本製品はカメラを利用した装置であり、トンネル走行など明るさが急激に変化したり、逆光などで撮影映像に影響を与えることもありますので、ご了承ください。
- 照明のよくない環境では、車両の補助ライトを点灯させるときれいな映像が撮影できるようになります。
- 一定の速度の以下の衝撃では本製品に映像が保存されない場合がありますので、ご注意ください。緊急な場合は(SHOT)ボタンでおして手動で保存してください。
- 電源の入った状態(ON状態)ではSDカードを抜き差ししないでください。(電源OFF状態でSDカードを取り出してください。)保存データに損傷を与える恐れがあります。
- 事故の原因となる恐れがありますので、走行中は本製品の操作を行わないでください。本製品の操作を行う場合は、必ず安全な場所に停車してから行ってください。
- 使用中、製品を落としたり、衝撃を与えると故障、火災の原因になる恐れがあります。

## 2. 使用時、注意事項

- 高温又は低温、湿気が多い環境でのご使用及び、保管をご遠慮ください。夏に長期間太陽光に露出する場合や温度がとても低い場所に放置すると変形、故障の原因になることもあります。又、火に近づけたり、火又は水に入れたりしないでください。火災または故障の原因となります。
- 本製品を車両からはずす場合は電源OFFの状態で行ってください。
- SDカードの保管又は運搬時には、静電気及び外部の環境により、データが損失する恐れがありますので、保管ケースに入れて保管/運搬してください。
- SDカードは消耗品です。SDカードの使用期限がすぎると、SDカードのメモリセクター部分に損傷が発生し、録画保存が正常に作動しない場合があります。本製品はSDカードの自動チェック機能があります。自動チェック機能よりSDカードの正常状態を確認した後でも、映像が正常に撮影されない場合は新しいSDカードに交換してください。
- SDカードへの保存、コピー又は削除、再生のため、SDカードを読み取っている際に、SDカードを抜いたり電源を消したりすると、保存データが破壊(損傷)する場合があります。
- 保存データの破壊(損失)に関して、当社では一切責任を負いません。
- 重要なデータは必ず、他の媒体(ハードディスク、CD、メモ리카ードなど)にコピー、保管してください。

### 3. 製品構成

(マニュアルおよび簡単設置ガイドはファイルで提供される場合があります。また、構成品の仕様は事前予告なしで変更される場合もあります。)



本体



設置台



SDカード



ケーブルホルダー



カー電源コード

## 4. 製品各部の名称



## 5. 製品仕様

カメラ	1 Camera (1.3M pixel CMOS digital camera) 撮影角度 : 156 度 (水平 120 度, 垂直 90 度) カメラ回転: 上下 60 度
録画解像度	1280x960 (HD クラス) 15fps Max. 640x480 (VGA) 30fps Max.
LCD	2.4" color TFT LCD
GPS	内蔵型 GPS モジュール
衝撃センサー	内蔵型 3 型加速度センサー (x-y-z、衝撃/急制動/急発進/急回転など)
保存媒体	SD メモリカード (付属)
音声録音	マイク内蔵
音声案内	スピーカー内蔵
定格電圧	12V ~ 24V (付属のシガープラグより給電)
動作電圧	8V ~ 32V
消費電力	2.4W
動作温度	-20℃ ~ 65℃
映像保存時間	イベントファイルは衝撃感知前 10 秒, 衝撃感知後 15~60 秒 常時録画ファイルは 5 分単位で持続的に保存
機能ボタン	VIEW / PLAY / SHOT
非常電源	EDLC
最小動作照度	1 Lux
寸法	111x75x27 mm (設置台は除く)
重量	129 g (設置台は除く)
PC 使用環境	CPU : Pentium4 以上 (CPU 2GHz 以上推奨) Memory : RAM 1G 以上 (RAM 2G 以上推奨) OS 環境 : Windows XP / VISTA / 7

## 6. 設置時の注意事項

安全な設置及び使用のため、製品を設置する前に次の注意事項をご確認ください。

- 最初に電源を入れる時、またはアップグレード後には再起動の完了する前に電源は抜かないでください。特に、エンジンをかけるとき、しばらく電源が遮断されますので、ご注意ください。
- 本製品にはVisionDriveの専用SDカードを使用してください。(装置を動かすための専用プログラムが予め記録されています)
- 事故防止のため、設置作業は明るい安全な場所で、必ずエンジンを止めて行ってください。
- 付属の電源ケーブル以外のケーブルは使用しないでください。  
電線を切り、車両の常時電源に直結する場合は専門サービス店にお問い合わせください。
- 設置前にカメラを装着する部位とカメラのレンズ部をきれいにしてください。
- 動作中にはSDカードを抜き差ししないでください。
- 本製品を取り外す場合は、必ず電源を抜いて電源がオフになってから行ってください。
- 製品の分解、改造、ご自身での修理は危険ですので絶対におやめください。

---

## 7. 設置順序

1) 設置台を本体に取り付け



2) 本体にSDカード挿入



3) 本体にケーブルを連結した後、シガープラグ及び  
電源ON



4) 車両ガラスに付着



5) カメラ角度調節



6) LED ランプ確認



7) 電源ケーブル整理

## 8. 設置方法

### 1) 設置台を本体に取り付け



- 設置台を本体に差込、左にずらして固定します。  
(工場出庫時に本体に取り付けられていて、本体だけを取り外す場合は本体を右にずらし、取り外します。)

## 8. 設置方法

### 2) 本体にSDカードを挿入



- 設置台を本体に取り付けした後、上写真のようにSDカードを挿入します。
- 本体からSDメモ리카ードを取り出す場合には、車両電源をOFFの状態  
SDメモ리카ードを押したらSDカードが自動的に出てきます。
- この際SDメモ리카ードをピンセットや爪などで、無理に取り出さないで  
ください、製品の故障原因となる恐れがあります。

## 8. 設置方法

### 3) 本体にケーブルを接続し、シガー電源コード及び電源ON



- 本体に電源をつなげた後、車両のシガーソケットに電源を挿入してください。
- 車両のキーをさしてACC電源、またはエンジン始動をすれば本体に電源がはいり音声案内が出てきます。  
暫くしてLEDランプが点滅開始すれば、起動が完了した状態です。
- 電源が入った後、起動が完了するまで、電源ケーブルを抜かないでください。故障の原因になる恐れがあります。

## 8. 設置方法

### 4) 設置台ごとフロントガラスに貼り付けます



- 本体を装着する場所を選択し、ガラスをきれいに拭きます。
- 本体はできるだけ車両の中央部に装着します。ルームミラーの右側に装着する場合には反対をはずしやすく、ミラーカラーから離して装着してください。
- 設置台のテープは接着力が強いので、最初設置時にはテープの一部分だけをはがし、車両ガラスに仮止めてください。
- 電源コードを接続後、設置が正しいか確認後、完全に密着してください。

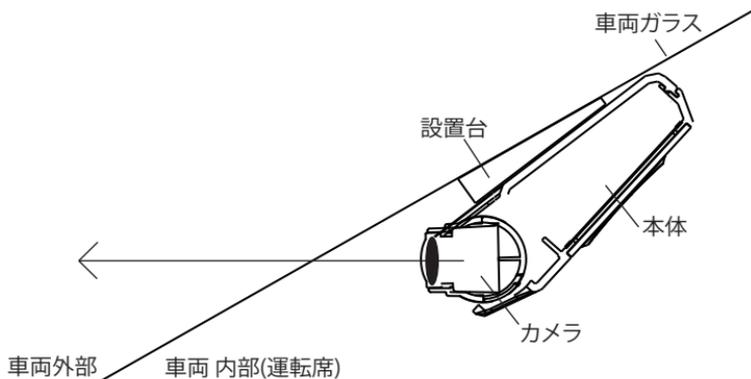
## 8. 設置方法

### 5) カメラ角度調節

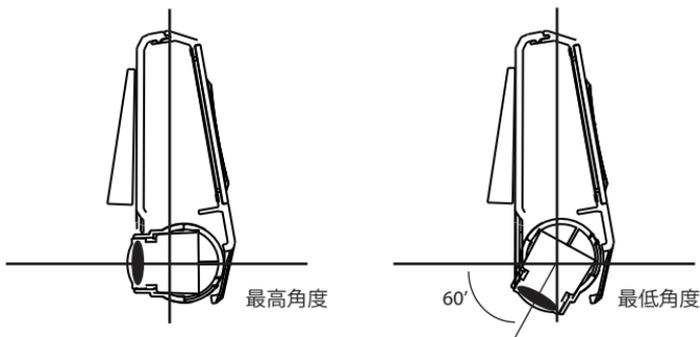


- 本体のカメラを上下に動かし、撮影角度を調節します。
- 本体のLCDにて撮影される映像を確認ができます。[VIEW]ボタンを押せばLCD画面が消えます。  
(LCD画面のOn/Off状態と関係なく録画されます。)
- 一部車種の場合はアンテナ位置若しくはガラスのコーティング状態により、内蔵GPSセンサーの受信に影響を与える場合があります。

## 8. 設置方法



- 本体を前面ガラスに固定する場合、カメラが車両の前方に向うように設置します。



- カメラは上下60度まで回転可能です。  
カメラが小さい振動により、動かないように多少硬くしてありますので、力を入れてカメラの角度調整を行ってください。

## 8. 設置方法



- PC 分析プログラムで、また LCD画面で、車両先端が画面の1/3程度まで映るように設置してください。

## 8. 設置方法

### 6) LEDランプの確認



- RECランプは、常時録画待ち受け時には、青色点滅、衝撃センサーによる映像録画時には、赤色が点滅します。
- GPSランプは受信前に赤色、受信中には青色が点灯します。
- GPS受信は車両の位置により、数秒から数分以上かかる場合があります。

## 8. 設置方法

### 7) 電源ケーブル整理



- 同封のケーブルホルダーを使用し、車両の電源線を整理します。

## 9. 使用方法

### 1) 製品の起動

- 車のエンジンを止めて、キーを抜いた状態で確認してください。
- SD メモリカードが本体に挿入されているか確認します。
- 車のエンジンをかけます。
- 車両のエンジンをかけると、本装置に電源が入り、音声案内を開始します。
- REC ランプと GPS ランプが点灯・点滅します。
- REC ランプは常時録画待ち受けモードになり、青色が点滅します。
- GPS ランプは GPS 受信前で、赤色が点灯し、受信後に青色になります。
- GPS 受信は受信状態により、数秒～数分かかります。

# 9. 使用方法

## 2) 常時録画及び 衝撃 (Event) 録画

- 電源ON状態では、常時録画待ち受け状態になり、RECランプは青色が点滅します。
- 常時録画待ち受け時には約5分間隔で、normalフォルダに保存されま  
す。継続的に保存して、SDメモリの保存領域がない場合は古いファイル  
から削除しながら、新しいファイルを保存します。
- 車両衝撃発生時、センサーが感知し、イベントファイルとして別途保存し  
ます。その際、アラームが鳴り、RECランプは赤色が点滅します。
- イベントファイルの保存時に、イベント発生前、10秒から、発生後最大60  
秒まで保存可能です。保存時間はPC分析プログラムで設定できます。  
(イベント発生前、保存時間は製品モデルにより、異なります。)
- normalフォルダとeventフォルダ容量比率、録画品質、解像度、センサー  
敏感度などはPC分析プログラムで設定できます。

## 9. 使用方法

### 3) 手動録画

- [SHOT]ボタンを押すと、イベントが発生し、衝撃発生時と同様にアラームが鳴り、イベントフォルダに保存します。
- 衝撃イベントが発生していなくても、事故を目撃したり風景などを録画したい場合、[SHOT] ボタンを押して保存することができます。
- [PLAY] 実行中にも [SHOT]ボタンを押すと手動イベント録画を開始します。

## 9. 使用方法

### 4) 現在の画面確認

- LCD画面がついた状態で[VIEW]ボタンを押せば画面が消えた状態で録画が進行されます。  
[VIEW] ボタンを再度押すと、現在のカメラに映る画面が表示します。
- 必ず安全な場所に停車して、本機能(ボタン操作)を行ってください。

## 9. 使用方法

### 5) 最近のイベント再生

- [PLAY] ボタンを押すと、最後に保存されたイベントが再生します。

- 画面再生中[VIEW]ボタンを押したり画のように本体を右側に傾ければ現在のイベント直前のイベントが再生します。過去のイベントを再生しようとする時は[VIEW]ボタンを何度も押したり、本体を右側に傾ける動きを継続して該当イベントを検索することができます。  
(本体を左側方向に傾ければ時間的に最近録画されたファイルらが順に転換になります。)



- 再生中[PLAY]ボタンを再び押すと再生が終了して常時録画モードに戻ります。

## 9. 使用方法

### 6) SDカードの使用

- SDカードは必ずVisionDriveの専用SDカードをご使用ください。専用SDカードは弊社の精密なテストで検証したもので、他のカードを使用する場合、保存領域及び保存が正常に行われない恐れがあります。
- SDカードを取り出す場合、車のエンジンを止めて、キーを抜いてください。エンジンが止まって数秒後、本体の電源がOFFになり、LEDが消灯します。(内臓のEDLCが作動し、数秒間最終録画ファイルを安全に保存した後、電源がOFFになります。) 画面及びLEDが消えたらSDカードを押し、本体から取り出します。
- 取り出したSDカードは本製品を再度ご利用になる前に必ず挿入してください。SDカードが挿入されていない場合は正常に作動できません。
- SDカードをPCに接続する場合には必ずSDHC規格に対応したリーダーをご使用ください。
- SDカードの未挿入又は、SDカードの不良で読み取れない場合は“SDカードを挿入してください。”と、音声案内が流れます。SDカードを挿入するか正常なSDカードに交換してください。
- SDカードが書き込み防止状態になっている場合、“SDカードがロックされています”と音声案内が流れます。書き込み防止スイッチを解除位置に直し、再挿入してください。
- SDカードを正常に挿入した場合でも上記の音声案内が流れる場合は、新規カードをご購入ください。

---

## 9. 使用方法

### 7) 音声録音

- [SHOT] ボタンを3秒以上押すと“音声録音を始めます。”と、音声案内が流れます。車両内部の音声を録音します。
- [SHOT] ボタンを再び3秒以上押すと“音声録音を中止します。”と、音声案内が流れます。車両内部の音声録音を中止します。
- 録音モードはPCの分析プログラムで設定できます。

## 10. 分析プログラム

\*\*\* 分析プログラムのスキン(デザイン)はバージョン別に異なる場合があります。\*\*\*

### 1) プログラム実行

- SD メモリカードをPCに接続後、SDカードの VDAalyzer.exeプログラムを実行します。

- VDAalyzerを実行したら、暗証番号の入力画面が表示されます。初期暗証番号は“12345678”です。ログイン後、変更してください。



# 10. 分析プログラム

## 2) 分析プログラム 実行画面

The screenshot displays the VISIONDRIVE BLACK BOX software interface. The main window is titled "VD-3000" and "VISIONDRIVE BLACK BOX". It features a large central video feed showing a first-person perspective of a car driving on a road. The video feed is split into two sections: a smaller one on the left showing a side view of the road with other vehicles, and a larger one on the right showing the front view from the driver's perspective. Below the video feed, there is a timestamp "2009-09-02 16:05:31 [ E127 088585 - N37 048321 ]" and three data series: Z +0.736, Y -0.064, and X +0.704. At the bottom left, there is a speed indicator "52 Km/h" and a brightness control slider. The bottom center contains playback controls: a play button, a pause button, a stop button, and a fast forward button. The bottom right contains buttons for "AVI", "CONFIG", and "INFO".

On the right side of the interface, there is a "F:\W\data\event" window with a table listing files. The table has columns for "FILE", "SIZE", and "TYPE". The file "20090623-115531-2.vd" is highlighted in blue.

FILE	SIZE	TYPE
20090625-140849-1.vd	39.4	N
20090625-073813-2.vd	13.3	E
20090623-121504-2.vd	10.0	E
20090623-115531-2.vd	5.6	E
20090623-115512-2.vd	9.7	E
20090623-112832-2.vd	10.3	E
20090623-112235-2.vd	13.5	E
20090623-111539-2.vd	13.2	E
20090623-111422-2.vd	10.1	E
20090623-111348-2.vd	13.2	E
20090623-110709-2.vd	10.4	E
20090612-083925-2.vd	10.2	E
20090612-083824-2.vd	12.0	E
20090612-083718-2.vd	10.4	E
20090612-083333-2.vd	10.4	E

Below the table is a map showing the current location. The map is titled "地図" and shows a street view of the area around "白井" (Shirai). Landmarks include "清水口", "保寿園", "幼稚館", "ランドローム", "フード", "マーケット", "けやき台", and "ビッグエー". The map is credited to "Google" and "地図データ ©2010 ZENRIN".

# 10. 分析プログラム

## 3) 保存ファイル再生

- 右の保存ファイル目次で再生するファイルを選択します。
- ファイルリストは最近保存されたファイルほど、上の部分に表示されます。
- プログラム実行時、基本的にEventフォルダが開きます。Eventフォルダには衝撃発生時のイベントと使用者が[SHOT]ボタンで保存したファイルが保存されています。
- Normalフォルダには常時録画映像が保存されており、[OPEN]ボタンを押したら、フォルダが開きます。
- ファイル名は下記のとおり、表記されています。(区分: 1-Normal, 2-Event)

区分	実際のファイル名(検索ウィンドウにて)	ビューアのファイルリストにて
GPS 受信時	一連番号-日付-時間-区分.vd 例) 12345678-20090102-120102-1.vd	日付-時間-区分.vd 例) 20090102-120102-1.vd
GPS 未受信	一連番号-nogps-一連番号-区分.vd 例) 12345678-nogps-12345678-1.vd	nogps-一連番号-区分.vd 例) nogps-12345678-1.vd

# 10. 分析プログラム

## 4) プレビュー機能

ファイルリストで選択したら、ファイルの最初の画面が表示されます。選択したファイルをダブルクリックすると、再生します。



## 10. 分析プログラム

### 5) 地図連動機能

- GPSデータで地図を検索し、データ保存時の場所を表示します。
- 事故発生時の正確な位置と状況が把握できます。
- 地図連動機能はPCがインターネットに連結されている場合のみ、地図が表示されます。



## 10. 分析プログラム

### 6) 以前フレーム / 一時停止 / PLAY / 次フレーム

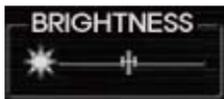
- PLAYボタンを押すと、選択したファイルが再生します。  
(ファイルリストで選択したファイルを再生する場合にはファイル名をダブルクリックしてください。)
- 一時停止ボタンを押すと、ファイル再生中、一時停止します。
- 以前フレーム、次フレームボタンは一時停止状態で、一コマずつ、詳細な分析に有用な機能です。



## 10. 分析プログラム

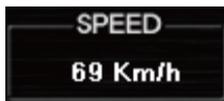
### 7) 明るさ調整 (BRTIGHTNESS)

- 明るさ調節バーを左右に移動し、保存された映像の明るさが調整できます。詳細な分析に有用な機能です。



### 8) 速度表示(SPEED)

- 映像記録中にGPS信号より取得した移動速度(車速)を表示します。



## 10. 分析プログラム

### 9) 衝撃量グラフ

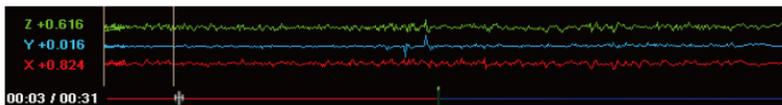
- XYZ グラフは時間別の衝撃変化を表します。

- X軸：前後方向の衝撃を感知します。(0.000G~3.000Gまで表示)
- Y軸：左右方向の衝撃を感知します。(0.000G~3.000Gまで表示)
- Z軸：上下方向の衝撃を感知します。(0.000G~3.000Gまで表示)

- 時間軸;再生中の全体時間を表示します。

- 衝撃の発生時には、衝撃を感知した時点周辺に縦線が表示されます。

- 一般走行状態あるいは衝撃後には横線が青色に、衝撃発生時点以前は横線が赤色と表示されます。



# 10. 分析プログラム

## 10) AVI 変換



- SDカードに保存されている映像ファイルはVisionDrive専用ファイルとして専用プログラム(VDAnalyzer)で再生できます。
- 一般PC上で映像ファイルを確認したい場合はAVIファイルに変換しなければなりません。
- AVIに変換する場合は、まず保存する映像区間を決め、区間の最初の画面で一時停止します。
- AVI変換ボタンを押し、AVI保存ファイル名を入力画面が表示します。
- ファイル名を任意に入力します。拡張子名は指定する必要はありません。
- 再びPLAYボタンを押すと、再生する映像をAVIファイルとして保存します。
- AVI 変換中、一時停止ボタン又はAVIボタンを再び押すと、AVIファイル 変換を終了します。
- ビデオ映像作業に必要なコーデックがPCにない場合、ビデオコーデックのインストールが必要であるとのメッセージが表示されます。この場合はインターネットからXvidコーデックをダウンロードしてインストールしてください。(すでにコーデックが設置されている場合やメッセージが表示されない場合はインストールする必要がありません。)

## 10. 分析プログラム

### 11) 環境設定



- 画面解像度, 録画品質が設定できます。
- 画面解像度を大きくすると録画品質がよくなりますが、保存ファイルのサイズも大きくなります。
- 衝撃センサーの設定ができます。感度を高くすると鈍感に、低くすると敏感になります。
- ご利用地域の時間帯を設定して、サマータイム制度(Daylight Saving Time)の適用可否をチェックします。
- 衝撃発生後、録画時間が設定できます。(衝撃発生前は10秒間保存します。)
- 衝撃ファイル保存領域はeventフォルダ保存比率調整により、その他映像は常時録画フォルダ (normal)に保存されます。
- 音声録画、衝撃警告音の設定が可能です。
- 車両情報を入力すると再生時、画面の下端に表示されます。
- 過速防止のためのアラーム設定をすれば、設定速度を超えるとアラームが鳴ります。
- 暗証番号設定が可能で、録画された個人情報を保護できます。

# 10. 分析プログラム

## 11) 環境設定



設定

<b>[映像設定]</b> <b>[解像度]</b> <input type="radio"/> 640 X 480 (Max. 30 fps) <input checked="" type="radio"/> 1280 X 960 (Max. 15 fps)	<b>[録画画質]</b> <input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 小	<b>[録画設定]</b> 衝撃発生後の録画時間 (単位: 秒) <input type="text" value="15 sec"/> 衝撃ファイルの保存スペース (単位: %) <input type="text" value="15 %"/> <b>[音声録音]</b> <input checked="" type="radio"/> 音声録音ON <input type="radio"/> 音声録音OFF
<b>[衝撃センサー設定]</b> 高 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 低 [X: 前後変化量] <input type="text" value="5"/> [Y: 左右変化量] <input type="text" value="5"/> [Z: 上下変化量] <input type="text" value="5"/>	<b>[衝撃警告音]</b> <input type="text" value="5"/> 小 大	<b>[車両情報]</b> <input type="text" value="Your Car Number"/>
<b>[Time Zone]</b> GMT +09:00 Seoul, Tokyo <input type="checkbox"/> Daylight saving time (D.S.T)	<b>[車種]</b> <input checked="" type="radio"/> 乗用車 <input type="radio"/> バス/トラック <b>[速度単位]</b> <input checked="" type="radio"/> KM <input type="radio"/> MILE	<b>パスワード (大文字区分)</b> <input type="text" value="*****"/> *パスワードを入力してください (6~8文字) <input type="text" value="*****"/> *確認のため、もう一度入力してください。
		<b>スピードアラーム</b> <input type="checkbox"/> アラームON <input type="text" value="0"/> Km/h <input type="button" value="確認"/> <input type="button" value="取り消し"/>

# 11. 製品保証

## 1) 無償サービス

- 保証期間内(お買い上げ日より6ヶ月間)に、正常な使用状態において万一製品が故障した場合には無料で修理いたします。
- 保証期間中に修理を依頼される場合は製品に保証書を添えてお買い上げ頂いた販売店に修理をご依頼してください。
- 保証期間が過ぎた場合にはお客様の要請により有償修理サービスが提供されます。
- 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
  - 使用上の誤り、製品に改造を加えた場合や当社指定のサービス店以外で修理された場合。
  - お客様の不注意による破損・天災地変による故障および損傷
  - 当社が提供したり指定した電源ケーブル以外のケーブルによる故障および損傷
  - 製品購買後運送、移動、落下などによる製品の損傷
  - 保証書のない場合や保証書の指定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
  - 本書は日本においてのみ有です。

# 11. 製品保証

製品保証書			
製品名	VISIONDRIVE	モデル名	
購入日		シリアル番号	
販売代理店		保証期間	

購入日から6ヶ月(製品保証期間)以内に製品自体の問題によって故障した場合には無償サービスを受けることができます。製品保証書に購入日が表記されていない場合は製品シリアル番号による生産日時あるいは製品包装あるいはシリアルナンバーによって把握された製造日付を基準として製品保証期間を認めます。

- 本商品に対するA/Sサービス要請時に当社または指定された協力会社/販売店/装着店にてサービスを実施します。
- 修理(補償)の有無および内容通知は当社への要求日から14日以内に、修理(補償)は通知日から30日以内に解決します。
- 本商品の保証期間は購入日から6ヶ月です。

---

本商品のハードウェア、ソフトウェア、デザイン、商標および製品に対するすべての権利は製造会社が保有しています。これの無断複製、加工及び配布の場合は、民事上の損害賠償及び知的財産権の保護法律などによって刑事処罰を受けることもあります。



**VISIONDRIVE™**  
CAR BLACK BOX